



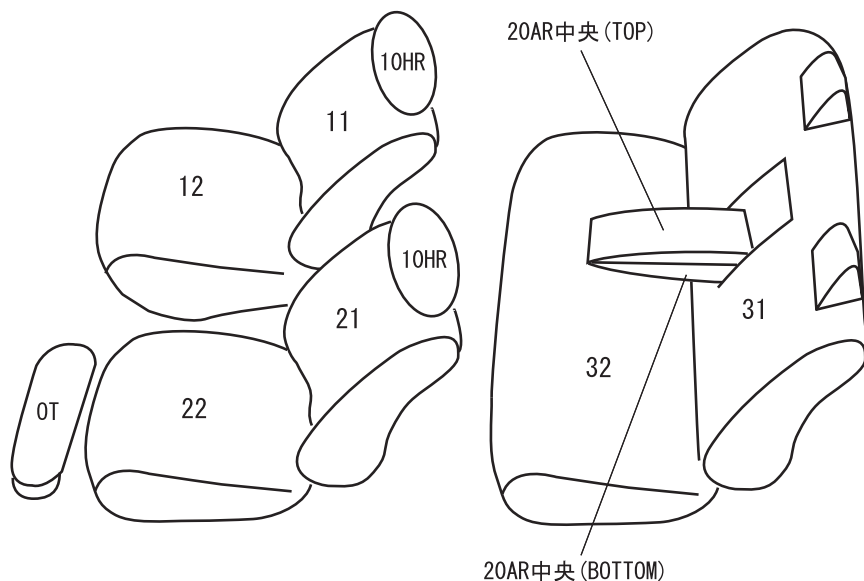
ニッサン フーガ

専用シートカバー取付説明書

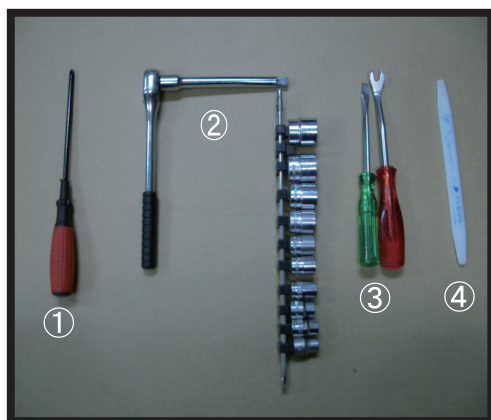
この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

- * 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- * 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



工具名

- ①＋ドライバー
- ②ソケットレンチセット
- ③ードライバーまたは内張り外し
- ④ヘラ

*この車種では、①と②の工具を使用します。

*この車種では、③の工具は使用しません。

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。
※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地の表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



- 1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



- 3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。
※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。
その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



- 2 シートを上から見た状態です。
通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。



- 4 シートカバーをシートに取り付ける際は、シートカバーを半分ほど裏返し、シートのサイドエアバッグ展開部分とカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてから、カバーを装着します。



- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押して、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。
この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。
SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることになります。
位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。



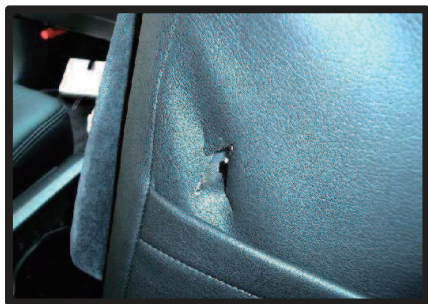
- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

コンビニフックについて

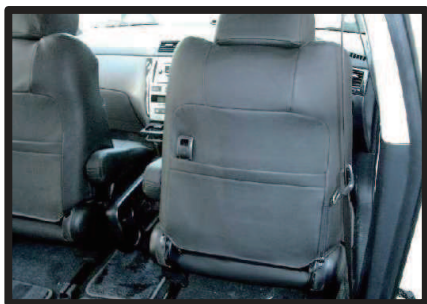
一部車種の1列目背面にあるフック部分は穴あけ加工がされておりません。フックがネジで固定されている場合、カバーを加工すれば使用することが可能です。



- ① ネジを外します。ツメで固定されている場合がありますので、取り外しには十分ご注意ください。ツメが破損すると元通りに取り付けられなくなる場合もあります。



- ② 背もたれカバーを取り付けます。シート本体とカバーがずれていないかをよく確認した上で、フックの位置に切り込みをいれます。

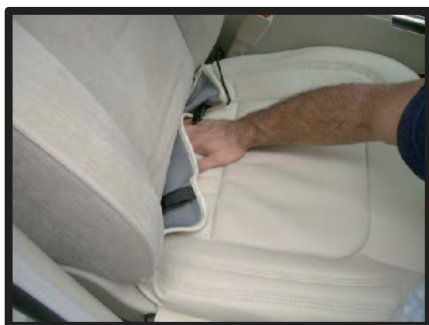


- ③ 切り込み部分にフックを取り付けて完成です。

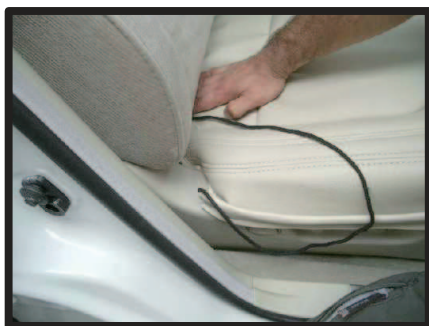
1 列目座面



- ①運転席の座面カバーをシートのラインに合わせてかぶせます。



- ②座面と背もたれの隙間に生地を入れ込みます。



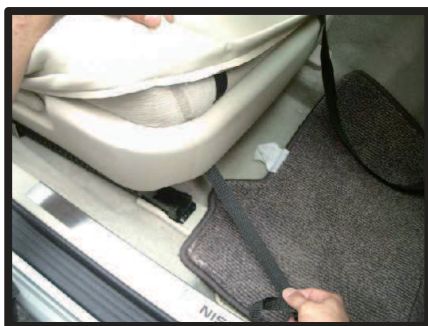
- ③窓側のヒモは、座面とプラスチックの隙間を通すようにして、後ろに入れ込みます。



- ④背もたれの後ろ側に回って、背もたれ裏側の生地をめくり上げます。生地は、底面にフックで引っ掛けてあります。カバーとヒモを引き出します。



- ⑤内側のヒモは、プラスチックカバーの中を沿わすようにして通し、後ろに引っ張り出します。



- ⑥シート前面は、シート本体とプラスチックカバーの隙間にベルトを通して座面底部を通して後ろへ送っておきます。



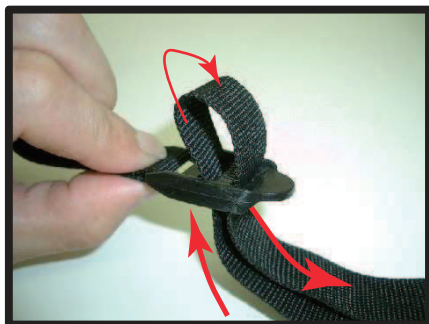
⑦側面はプラスチックカバーの隙間にシートカバーを入れ込んでいきます。ヘラ等を使用すると簡単に作業が出来ます。



⑩前から通しておいたベルトを固定します。
固定方法は⑪を参照して下さい。



⑧側面と前面をプラスチックカバーの隙間に入れ込み、カバーの表面をシート本体のラインに合うように整えます。



⑪ベルトをアジャスターの真中の穴に通し、次に手前の穴に通します。
通したベルトを引っ張る事で、ベルトが締められ、カバーを固定します。



⑨後ろに抜き出しておいたヒモを、結んで固定します。



⑫運転席座面の完成です。

助手席座面とパワーOTTOMAN



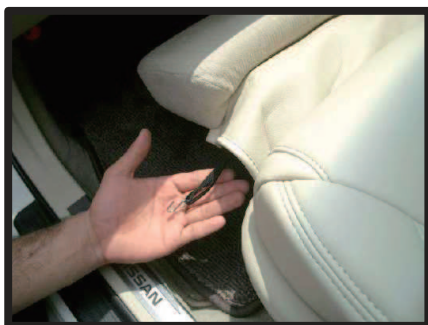
- ①運転席同様、カバーをシートのラインに合わせてかぶせます。
OTTOMANの部分が運転席側と大きく異なります。



- ④カバーの先端部分は、OTTOMANの隙間に差し込みます。



- ②運転席と同様に取り付けていきます。



- ⑤両脇のゴムを付属のS字フックを使用し、座面裏側に固定します。



- ③前面部分をシートと座面下側の隙間に挟みこみます。



- ⑥カバー両端を裏側へと、綺麗に折りたたみます。



⑦オットマンのカバーをかぶせます。
ヒモが出ている方が前側です。



⑩オットマンを閉じた状態です。



⑧ラインに合わせてかぶせた後に、ヒモを引き絞って結んでください。



⑨カバーのラインを整え、助手席座面の完成です。
図はオットマンを開いた状態です。

1 列目背もたれ

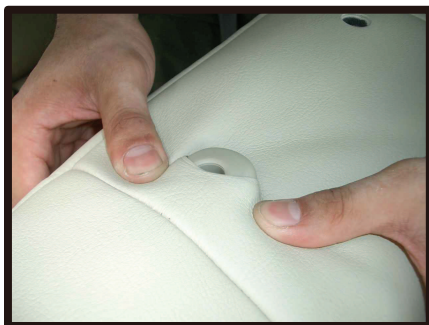


注意

サイドエアバッグ装着車の装着方法は、表紙から4枚目と5枚目の『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。



- ①ヘッドレストを外し、背もたれのカバーを半分ほど裏返した状態でかぶせます。
肩口をしっかり入れ込みます。



- ④ヘッドレストの台座部分を穴から取り出します。生地の伸びを利用して横から潜り込ますように取り出します。



- ②半分ほどかぶせた段階で、座面カバー取り付け時にめくっておいたシート生地をカバーの中に入れ込みます。



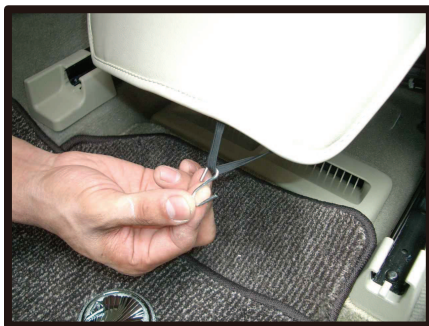
- ⑤③で入れ込んだ生地を、後ろに引き出し、マジックテープで固定します。



サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。



- ③カバーを引き下げた後、①～③の手順を繰り返していき、ラインを整えていきます。マジックテープ部分を背もたれと座面の隙間に入れ込みます。



- ⑥余分に垂れ下がっている生地を、S字フックを使って座面底部に固定します。

2 列目座面



⑦カバーの表面を整え、1列目背もたれの完成です。

サイドエアバッグ装備車は、サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。

助手席側も同様にに取り付けます。



⑧助手席側のパワーシート操作ボタンは、ヘラ等を使って、スイッチカバーの隙間に、生地を入れ込みます。



⑨生地を入れ込むとこのようになります。



①座面を車体から取り外します。

座面前端部分にある、固定フックを引きながら持ち上げると取り外せます。



②取り外したシートを車外に持ち運び作業をしやすい場所に置いてください。



③座面カバーをシートのラインに合わせてかぶせます。

2 列目座面続き



④シートベルトの差込口周りです。
カバーを隙間に折り込みます。



⑦座面を元に戻す作業は、背もたれの
カバー装着が終わった後に行います。



⑤シートごと裏返して、ベルトとヒモ
で固定していきます。



⑧座面を元に戻した後に、シートベル
トの受け口部分とベルトを、図のよ
うに抜き出して下さい。



⑥再び、表にひっくり返してから、前
後左右をシート本体のラインに合わ
せるように、整えます。

2 列目背もたれ



- ①背もたれを取り外します。
背もたれ下部にナットで固定された部分が4ヶ所ありますので、ラチェット等で取り外します。



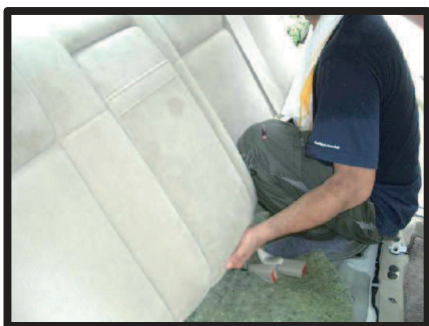
- ④作業の行いやすい場所へとシートを移します。



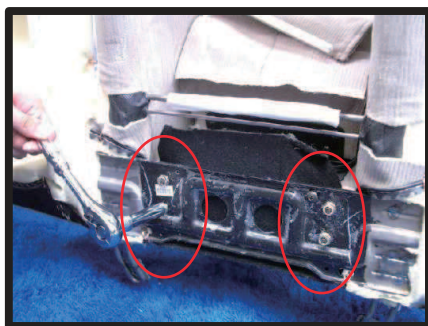
- ②シートベルトを肩口のプラスチックから抜き取っておきます。



- ⑤シートベルトを通していたプラスチックのパーツを、+ドライバーを使用して取り外します。



- ③背もたれを、上に持ち上げるようにして取り外します。



- ⑥アームレストを取り外します。
背もたれを裏返したところに、ナット4本で固定されています。

2 列目背もたれ続き



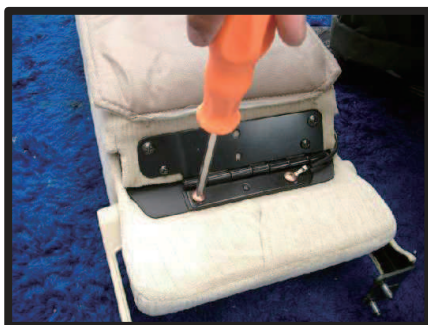
⑦アームレスト部を取り外すと、背もたれは、このようになります。



⑩アームレスト部の上部はマジックテープで固定します。



⑧背もたれカバーをシートのラインに合わせてかぶせます。



⑪ー①アームレストを取り外し、さらにフタとボックス部分との2つに分けます。ネジは、+ドライバーで取外せます。



⑨裏返してベルトで上下左右を固定します。



⑪ー②フタを取り外すと、ボックス部はこのようになります。



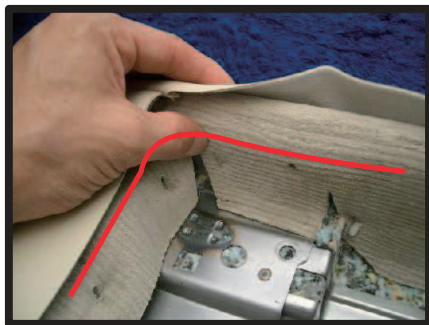
⑪-③アームレストに付いているパーツを取り外していきます。



⑪-⑥アームレストにカバーをかぶせていきます。



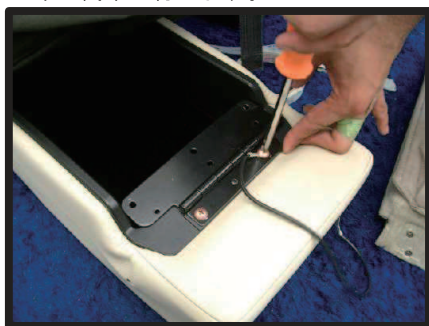
⑪-④ボルトはラチェット等を使用して取り外します。



⑪-⑦ボックスを外した部分に余分な生地を巻き込んだ状態で、元に戻します。**線**を引いたところは、両面テープ等で生地を固定しておくと、作業が簡単に行えます。



⑪-⑤全てのネジを取り外した後、プラスチックのボックス部を、**矢印**方向に引き抜くと、簡単に取り外せます。



⑪-⑧取り外した手順と逆の手順で元に戻していきます。

2列目背もたれ続き



⑪-⑨アームレストボックス部分の完成です。



⑪-⑫カバーをかぶせて余った生地を内側に巻き込みながらプラスチックのカバーを元に戻していきます。
○の生地部分はカバーの間から抜き出します。



⑪-⑩アームレストのフタの部分もボックス部分同様に、プラスチックカバーを取り外します。
+ドライバーで取り外せます。



⑪-⑬元通りに、ネジで固定していきます。



⑪-⑪フタの留め具も取り外します。



⑪-⑭2列目アームレストの完成です。



⑪～⑮アームレストの後ろ側へ、カバーの生地部分は垂らしておきます。背もたれを車に取り付けた際に、この部分は隙間に挟まれて固定されます。



⑭プラスチックパーツを元の位置に固定します。



⑫シートベルトを通していたプラスチックのパーツを、元の位置に取り付けます。ネジの穴があった場所にカバーに穴を開けます。(2ヶ所)



⑮背もたれを上から、○の部分に引っ掛けるようにして取り付けます。



⑬次に、穴と穴を繋ぐようにハサミ等で切り込みを入れます。

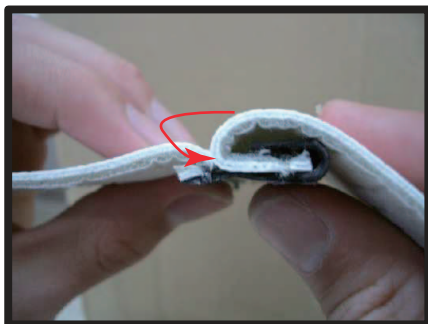


⑯外した逆の手順で取り付け、2列目背もたれの完成です。

ヘッドレスト



①ヘッドレストにカバーをかぶせていきます。



④平らなフックを、生地を巻き込む形で、カギ状のフックへと入れ込んでいきます。



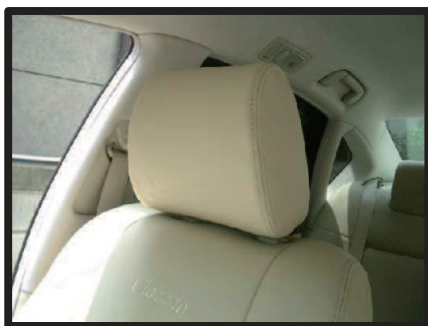
②ヘッドレストのラインに合わせ生地が馴染むようにカバーを整えていきます。



⑤フックを取り付けた状態です。



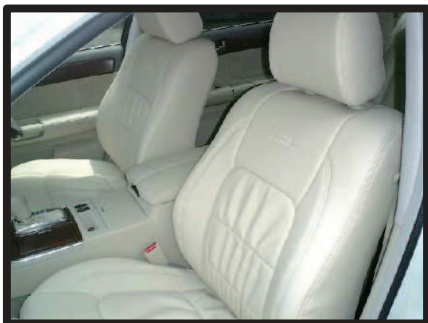
③ヘッドレストを裏返して、カバーのブラフック同士で固定します。



⑥ヘッドレストを背もたれに取り付けカバーの表面を整え、完成です。

完成図

※写真はサンプルの為、
実際の商品とは異なります。



1 列目



2 列目



2 列目アームレスト

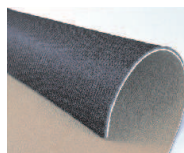


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

- ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

- 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。
または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。
クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。
長時間放置しておくとうれやシミが取れなくなります。
表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。
それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

- ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

- シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかり水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となる為しっかりと乾燥させてください。

※デニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。

